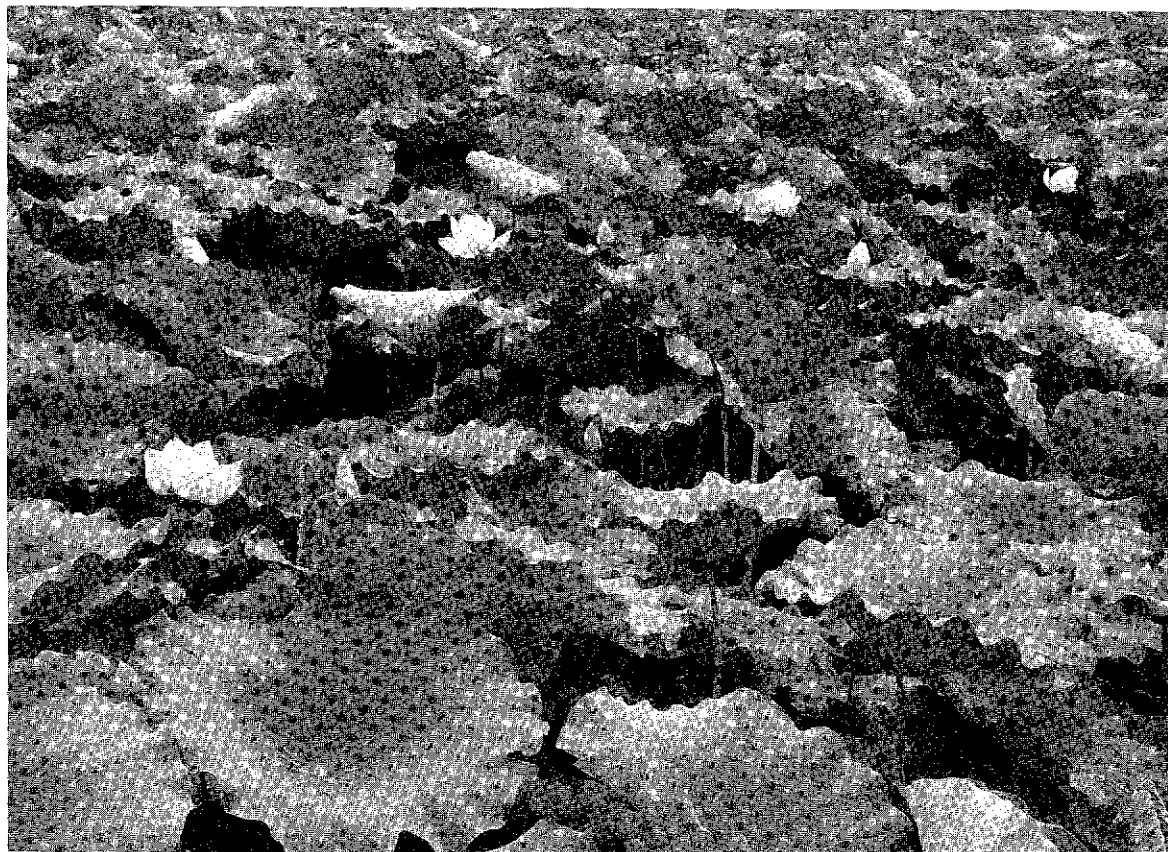


新潟県

平成4年

公民館月報

9月
第475号



中之島町大口れんこんを詠む

太古より生命続きて大口の
蓮華れんげは今ぞ気高くも咲く

大きなる蓮のうてなに転がるる
水玉きらら朝日に輝く

（中之島町公民館）

運営審議委員 佐々木信義

平成二年度販売額・五億五千万円
（資料 提供中之島町公民館）

公民館等管理者研修会開催

バズセッションと講義で

テーマ 公民館の今日的な管理運営

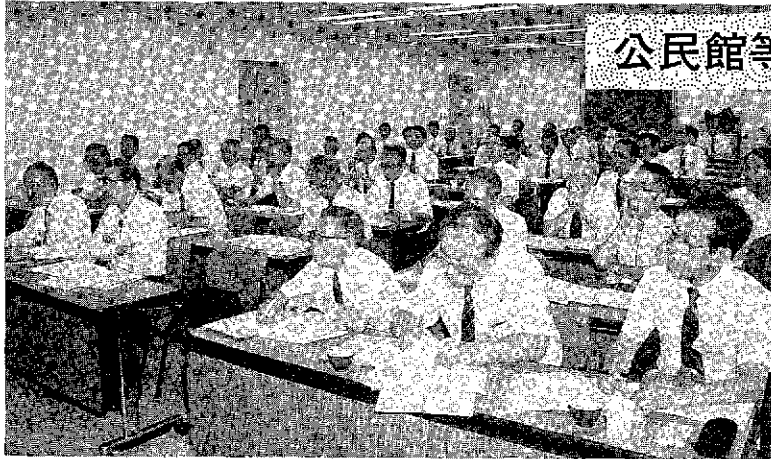
講師に神崎節生氏(神奈川県公連会長)を迎え

八月二十六日(水)
県立生涯学習推進センターと共催で同センターを会場に「公民館等管理者研修会」が開

催された。

オープン早々の施設ということもあって、地理的位置の不安内による多少の戸惑いもあったようであるが、参加者五十一名

は快適な施設環境の中で、終日熱心な研修が進められた。



午前は、六班の小グループに分かれ、バズセッションによる三つのテーマ(①職員の勤務時間、館長と職員との人間関係の融和策、②事業や施設の運営、③法的禁止事項の取り扱いの実際)について情報交換を主とする話し合いがなされた。その話し合いの報告によると、①一般公務員の週休二日制に逆行して公民館職員はむしろオーバーワークになっている。②非常勤公民館長の処遇が千差万別であることとその格差の解消について。

③魅力ある事業展開のための館長の責任や在り方などについて話しあわれた。

午後の講義では、神崎節生氏から神奈川県事例など活動資料の提供を受けて、公民館の今日的な管理運営の実際について、前段では、社教法二十三条に関する諸対応策について。後段で

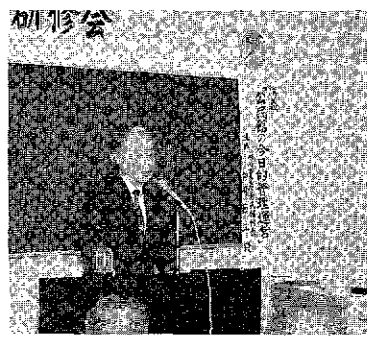
公民館振興市町村長連盟

定例会

総会

開催

は、「公民館の今日的課題」について触れ、これらの諸課題への取り組みが公民館長としての大切な役割であるうと力説していた。



八月三日(月)、午後二時から県公民館振興市町村長連盟総会が、出席市町村長等六十名によって開催された。

会長の伊豆野壹郎氏は、開会の挨拶で、これまで六年間、関係諸団体と協力して、「県立生涯学習センターの早期設置」を陳情してきたが、このたび、県立生涯学習推進センターの竣工オープンすることとなり、また、その施設機能についても、我々がこれまでに要望してきた機能をほぼ満たしていると思われるので、県当局の努力に感謝しつ

つ、組織的な陳情運動はひとまず納めたいと、今年度の方針に関する趣旨を表明した。

また、米賓として出席の県教育長本間栄三郎氏が祝辞を述べた(要旨は三面に掲載)あと、議事に移り、平成三年度の会務報告・歳入歳出決算報告、平成四年度の事業計画・歳入歳出予算案が審議され、いずれも原案のとおり可決された。ちなみに、当県公民館連合会主催の第43回新潟県公民館大会の共催の案件も承認された。

県教育長祝辞 要旨

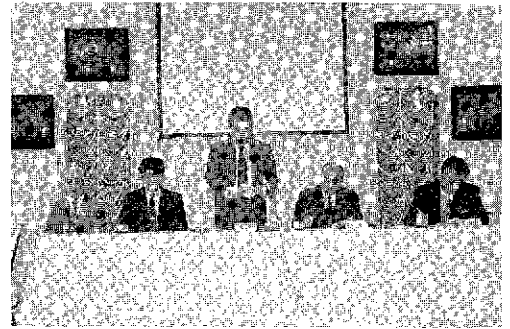
県公民館振興市町村長連盟の総会に、来賓として出席の県教育長本間栄三郎氏は、大要次のように祝辞を述べられた。

公民館は市町村における生涯学習の中核的施設としてこれまで以上に期待が寄せられています。今年、とりわけ、学校週五日制の実施に伴う在学青少年に対する対応などにも期待が寄せられています。

県では「生涯学習推進セン

ター」のオープンに伴い、公民館関係職員の資質向上のための研修や、学習相談・情報提供などの期待にこたえるべく取り組んでいます。更には、「生き生き県民カレッジ」の実施などで県民の期待に応える努力をしています。

市町村長各位におかれては、より一層の公民館の充実発展のためにこれまで同様のご理解とご援助をお願いいたします。



辛 口

○ 公民館の地域的・総合的社会教育施設としての性格が明確にされていないことが多いこと

○ 施設設備、教材、職員整備は重要であるが、各種機関との連携、社会資源の活用体制の確立がそれ

○ 公民館の再組織の中心であることが疎かにされていること

○ 教育委員会と公民館の事務が明らかに区別されず、社会教育行政即社会教育事業・公民館事業のようになっている場合

○ 努力が乏しいこと

○ 教育委員会と公民館の事務が明らかに区別されず、社会教育行政即社会教育事業・公民館事業のようになっている場合

公民館の課題

中野 滋

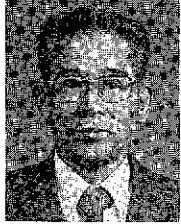
○ 公民館は、地域社会に劣らず必要であること認識が足りないこと

○ 事務の合理化、事業の効率的展開、公民館間の協力など公民館運営の合理化へ

○ 事業内容を多様化・高度化する努力が不十分であり、新しい学習方法に欠けていること

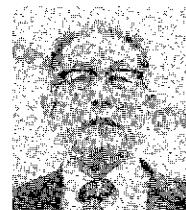
○ が多いこと

以上は、昭和四十三



花作りで仲間作り

桑原正守



数年前成人対象の歴史講座を受講した時、公民館の職員は、夜間

にもかかわらず学習活動の場において講師の送迎等町民のために働いてくれている姿をみると大変な職場だと感じたものです。それ以来公民館とは疎遠になっていきましたが、どうした風の吹き回しか公選審委員の委嘱を受け、凡愚な自分に勤まるか不安でした。

館長をはじめ事務局の関係者の詳細な説明や、質疑応答を通して公民館活動のアウトラインをつかむことが出来ました。事業の数の多いのにも驚きました。それらの事業も、自ら参加すればなお有意義なことが分かるだろうと考えていた矢先、公民館で「園芸教室」が開設されたので、それに参加することにしました。平成元年のことです。元来鉢ものの苦手なわたしのことですから、水やりも滞り枯らすのではないかと不安でしたが

ひろば

「この際」と思い切って仲間入りしたわけです。

花づくりブームということもあってか、参加者は七十余名。四月から十一月まで月一回の講習。夜の講習のためか、女性の途中退会者があって最終的には五十余名となったが継続終了した。今では愛好会となつて四年目を迎えている。まがりなりにも草花の名前も少しは分かり、作り方も少しづつではあるが理解できるようになり、未知の人々とも知り合い余分な草花を分け合ったり、仲間同志の交流も深まり楽しく過ごさせて頂いております。

春秋には展示会を開き町民の方々からも観て頂き、チャリティー販売の収益の一部を福祉のために寄付できるようにしました。また、草花を通してお互いに訪問しあい共通の話題で話せる仲間が出来たことを喜んでおります。

公民館の事業は乳幼児から高齢者までの様々な教室や講座が開設されていますが、わたし自身の出来ることには進んで参加している今日この頃です。

(栄町公民館運営審議委員)

公民館実践記録シリーズ Part II

秋の道 ゆずる気持と 待つゆとり (秋の全国交通安全運動)

自然体験学級 ガキ大将道場

学校週五日制の実施によって在学青少年の校外活動の重要性が一段とクローズアップしている。その対応に向けて、牧村で数年前から実施している「ガキ大将道場」を紹介して

一、はじめに 牧村は東頸城郡の西南部に位置し、南は長野県、西は上越市に接し、全村山と丘陵地とに囲まれ、いくつかの谷を流れる川の流域に集落が点在している。この自然環境に恵まれた牧村は、穏やかで素直な子供を育ててきた。しかし、生活状態はだ

り、戸外で友達と連れ合って遊ぶ姿を見ることが少なくなってきた。更に、各集落では子供の減少により、子ども会組織などの小集団が形成しにくくなり、昔から培われてきた集団での役



「写真説明」竹で皿やコップを作る食器作り

割や、年長からの知識や遊びの伝授など、子供の社会性を養うことも難しくなってきた。そこに、「ガキ大将道場」を開設した背景がある。

二、「ガキ大将道場」の概要

(一) 学級のねらい

小学校一年から六年までの児童を対象に、子供たちを村という大きなグループとしてとらえた中で、自然環境を生かした体験学習を行なうことにより、社会性、創造性、協調性を養い、郷土愛を育てることをねらう。

(二) 運営委員会を組織

保護者三名、一般指導者一名、村内小学校長一名の方々を運営委員に委嘱し、プログラムの内容や運営方法の検討をお願いしている。

そのうち、プログラム作成のポイントとして次のことを配慮している。

○学校ではできないことをやる ○農山村だからできることをやる (学習プログラムは表1)

(三) 実践の中から 個々のプログラムの展開事例を記述する紙幅がないので全体をとおしての概要を記す。

① 自然体験学習 「開拓キャンプ」(キャンプ場としての施設のない自然のままの「場」を私どもはこう呼んでいる)での自然体験は、参加者が予想より少なかったため、水汲みに時間がかかり食事づくりの時間が少なかったが、むしろ、昔の生活の厳しさが体験できた。また、何の設備も整っていない自然の中で生活して、昔の人々のように自然との共存、自然を大切にす

三、おわりに

運営委員会での反省から、次の点が指摘された。

・一・二年生が宿泊するとき保護者の同行を求めたが、夜間の見回りだけにしたほうがよかった。

・活動中は高学年生が低学年生の面倒をよくみて、年長者としての自覚ができてよかった。これらの反省点を次年度に生かしたい。

(牧村公民館 I&K記)

も少なく、なってきた。また、過疎化や出生率の低下により子供の人数が少なくなってきたことや、情報メディアの影響で室内で遊ぶことが多くな

Table with 5 columns: 回数, 期日時間, 学習内容, 指導者, 会場. It lists activities like '開拓式', '七夕作り', '開拓キャンプ準備', '開拓キャンプ', and 'アイススケート'.

村上市上海府地区公民館

地域の活性化はアイディア次第

吉浦集落公民館の実践

村上市の教育委員会では、生涯学習の街づくりを指して、市内の各町内集落からモデル地区を指定して推進している。

ここに登場する吉浦地区は、市内中心部から北部海岸地方にあり、上海府地区公民館のエリアにある中心地である。

人口四三五人世帯数一三三の半農半漁の集落である。この集落の「生涯学習の街づくり事業」の活動は吉浦公民館が中心となっている。以下吉浦(集落)公民館の二年間にわたる活動の実情を紹介しよう。

一、吉浦公民館の組織

町内の行政的代表である町内会長とは別に公民館長が選任され、運営委員(現在19名)によって基本的な活動計画が策定され

ている。この運営委員の選出母体は、各種団体(7団体から各2名)14名、区評議員代表2名、区民代表2名と館長によって構成されている。

二、公民館の事業

「温故知新」をモットーにして、町内の古い良い伝統行事は

活動に関する経費、年間予算33万6千円(各世帯負担200×12×14)に区からの補助金若干(事業により特別補助の制度がある)と、寄付金によって運営されている。

「温故知新」をモットーにして、町内の古い良い伝統行事は

活動に関する経費、年間予算33万6千円(各世帯負担200×12×14)に区からの補助金若干(事業により特別補助の制度がある)と、寄付金によって運営されている。



〔七夕丸〕先祖の霊を迎える麦わらの船

守り続け、そのうえ、新しいことを識り実行することを申し合わせた。(年間事業計画は表2のとおり)

これらの事業は、例年実施してきた事業を踏襲し、そこに若

干の工夫を加えたもので、とりたてて、新規の大イベントとして取り上げたものはないというが、「モデル地区づくり」の事業であることから、各事業について、アイディアを出しあうことで活性化を図ってきた。

この二年間の「生涯学習まちづくりモデル町内(集落指定)」をうけて努力してきた前吉浦地区推進協力員の瀬賀国雄氏はその事業推進について次のように語っている。

①人集めには、手数がかかっても文書で依頼することが効果的である。

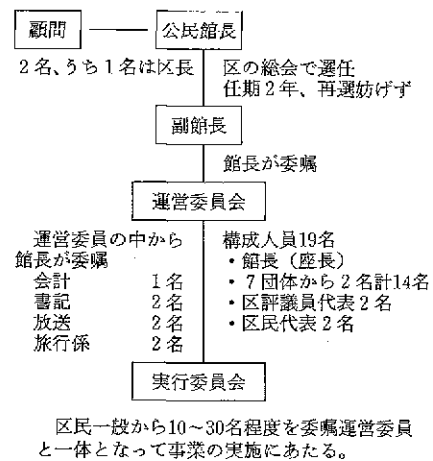
②中・高校生の考え方を尊重するとともに、イベント毎に役割を与えるなどして、参加意識と責任意識をもたせることが効果的である。

③「モデル地区だより」を季刊として定期的に発行したことが効果を発揮した。

④他のモデル地区との交流が刺激となり、活性化に大きく役立った。

これらのことによって、区民のみんなが公民館事業に積極的に協力参加してくれたのが何よりの成果であり、苦勞が喜びに変わった、と報告している。(村上市公運審委等合同研修会発表から)

〈表1〉 吉浦公民館組織図



〈表2〉 吉浦公民館年間事業計画表(平成2年3年)

月	行事	対象	記事
4	交通安全係引き	一般・学生	集落内、黄色安全係引き
4	社寺花木手入れ	一般男性	氏神・菩提寺の花木の施肥
6	スポーツ大会	一般	ゲートボールバレーボール
6	学養講話	一般	人生学養講話
8	中・高生の集い	中・高校生	館長副館長と学生との対話
8	七夕祭り	全区民	七夕丸の制作
8	区民の集い	一般	有志による懇談
8	体育祭	一般・学生	上海府地区体育祭への区チームの参加
9	研修旅行	一般	日帰りの名所見学旅行
10	区運動会	全区民	区をチームに分けて競技
10	地区文化祭	全区民	上海府地区の文化祭に参加、芸能出演
11	鮭料理講習会	一般女性	現職料理人による専門講習
12	しめなわ奉納	一般・老人クラブ	氏神の鳥居にしめなわを作り奉納する
12	区文化祭	全区民	書画・作畫・写真・盆栽 出品展示
1	さいの神	全区民	海浜で松餅りを焼く厄払い
2	芸術祭	全区民	唄・踊りの素人芸を楽しむ
2	生活改善委員会	委員36名	公民館主催、区長・区役員が傍聴、各委員・役員合同で年間行事を反省、次年度の事業計画を立案
3	合同委員会	運営委員会 交通安全委員会 教育委員会	
毎月	運営委員会	運営委員	各行事実施の具体的事項協議

大切な我が身を守る 交通安全ルール (高齢者交通安全旬間)

第40回中越地区公民館研究大会

研究意欲のあらわれた大会

小千谷市市民会館を会場に

七月二十八日(火)、中越地区公民館連絡協議会主催による第40回中越地区公民館研究大会が、小千谷市市民会館を会場に開催された。

主管の小千谷市公民館・北魚沼郡公民館部会では、四十周年を記念した研究大会にするため、これまで関係者により数回の実行委員会を開き、検討を重ねてきたもので、従来のこの種の研究会とは一味違った内容であった。その意気込みの伝わる内容の濃い集會に、三百人余の参加者は終始熱心に研修を深めた。

研究テーマは「今、公民館に求められるもの」と題し、サブタイトルに「実践活動の事例に学ぶ社会変化への対応」とした。その趣旨は、昭和56年中に学んだ「生涯学習」の教審答申により「生涯学習」の

分科会	テーマ	講師・発表・司会等
第1分科会	余暇時間とライフサイクル～余暇活動の振興～	講師 小千谷市公民館長 黒 隆 公民館主事 藤 隆 司会 猪 和
第2分科会	企業の文化支援・社会貢献(メセナ活動)	講師 東北電力新潟支店 廣 裕 三ツ井フーズ 黒 隆 朝日酒造 黒 隆 司会 小千谷市公民館長 黒 隆
第3分科会	人づくりと公民館の役割	講師 守門村公民館 黒 隆 司会 広神村公民館長 黒 隆
第4分科会	在学青少年に対する公民館の在り方	講師 黒 隆 司会 守門村公民館長 黒 隆
第5分科会	国際交流のすすめ方	講師 入広瀬村公民館長 武 邦一 司会 入広瀬村公民館長 武 邦一
第6分科会	楽しみとしてのニュースポーツ	話題提供 川口町公民館長 黒 隆 指導 中越教育事務所 黒 隆 司会 川口町公民館長 黒 隆
第7分科会	自然環境と問題点	講師 北魚沼理化学センター 黒 隆 司会 湯之谷村公民館長 黒 隆
第8分科会	ニューメディアに迫る公民館活動	講師 魚沼視覚センター 黒 隆 助言 湯之谷村公民館長 黒 隆 司会 湯之内町公民館長 黒 隆

七月二十八日(火)、中越地区公民館連絡協議会主催による第40回中越地区公民館研究大会が、小千谷市市民会館を会場に開催された。

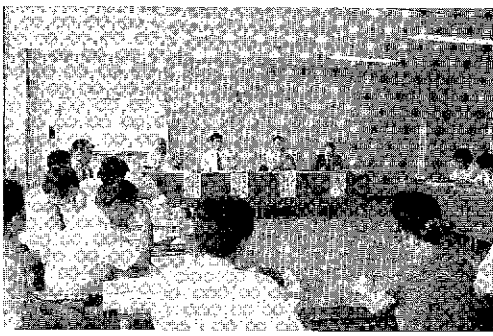
推進について提唱されて十年。しかし、その取り組みは緒についたばかり。試行錯誤の中から、地域に密着した公民館活動の展開を図ろうというもので、随所に当研究大会の特色が発揮され

特色の第一は、開会と同時に分科会開始、閉会式のセレモニーは午後の全体集會の冒頭にとり、それも、主催者挨拶(中越公連会長)と歓迎挨拶(小千谷市長)のみとしたところに特色がうかがわれた。

特色の第二は分科会の運営にあった。(分科会の内容については上表を参照されたい。)

ここでは、まず、8分科会構成として、主管管内の1市7町村のすべてが司会・発表等の役割分担をして取り組んだこと。ついで、分科会テーマは問題別として、発達課題を思い切った割愛したことにあろう。主管当事者の当研究大会に寄せる意欲があらわれていた。

二の部会の様子を紹介しよう。第一分科会の「余暇時間とライフサイクル」の部会では、真の余暇時代が登場している今日、なお余暇に対する価値観はまだまだ成熟せず、遊ぶことへの罪悪感を抱いたり、余暇があってもその活用に苦慮する人もないとはいえない。こうした現実を踏まえて、余暇生活の支援は、



大きく分ければ「個人への直接的支援と社会の中における広義の余暇環境の整備とがある。」と課題を提起して、「余暇生活設計」に関する、バスグループに分かれての実習を展開していた。

第二分科会「企業の文化支援・社会貢献(メセナ活動)」では、民間企業から三人の講師を

招き、今日の企業の働きに着目して、企業の社会貢献についての話を聞くとともに、公民館がどう対応する必要があるのか、また、その接点はどこかについて模索していた。

企業は利益追求が目的であるが、そのためには、社会還元が重要になる。こうした企業の姿勢を公民館も積極的に受けとめ、公民館が活動の充実強化を図るうえで、の戦力とするための新しい課題が提起されていた。

以下、「人づくりへの学習プログラム」学校週五日制への公民館の対応、「山村の国際交流の実際」「ニュースポーツのすすめ」「自然環境とその問題点」「ニューメディア時代の公民館の在り方」について、どの部門も共通していた点は、単なる実践報告と質疑応答の内容でなしに、今日的な課題を明確にする点とともに、話題提供者の主張、又は、提案が示されていたことである。

40回を記念した研究大会から、今後のこの種の集會の在り方について示唆を与えたものと思う。関係者の真しな取り組みに対し深甚の敬意を表するものである。

(写真は第二分科会の発表風景)

サークル交流

陶芸は創造の喜び

黒崎町「陶和会」

世界に一つしかない自分だけの器を作ってみたいと今年の五月、黒崎町に出来たのが、陶和会です。

陶芸は初めてという人ばかりです。技術の方は自慢できませんが、みんな熱意は人一倍です。会員は二十余人、女性が大半です。年代は幅広く十代から七十代までで、会長の横山仁幸さんを中心に和気あいあいと活動しています。

指導は柏繁行さん。土練り、



成形、絵付、本焼き...と初歩から教えてもらっています。会員はまだ土練りがうまくできません。でも、最近作品と呼べるものもできるようになりまし。十一月の文化祭では初の展示会を行う予定です。

ろくろを回しているときは精神を落ち着かせ、出来上りを想像します。絵付のためにスケッチをしたりします。窯出しは期待と不安で緊張の一瞬です。

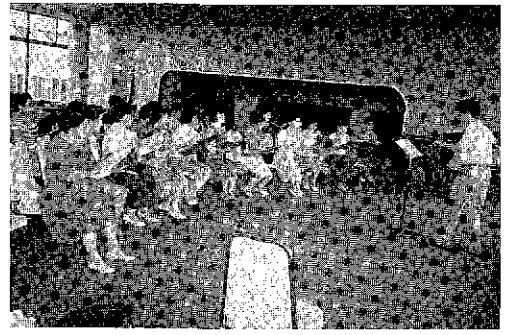
私たちの作る茶わんや皿・花器などは上手ではありませんが、創造の喜びがいっぱいつまっています。

(五十嵐政人 記)

第九を佐渡の空に……

両津市民コーラス

両津市民コーラスは、公民館講座の歌声教室が母体となっています。コーラスの好きな人が集まって楽しい活動を隔週で続けていきましたが、だんだん熱意がたかまって、毎週火曜はコーラスの日と家族の方がきめてくれるようになり、公民館サイドの好意的なバックアップもあり、講習会、交流会など積極的



な活動をするようになりまし。この間、七ヶ町村が一堂に会して、佐渡合唱連盟が結成され、年に一度は大勢で合唱をする喜びも味わっています。

今は、公民館の自主講座として自主運営をし、名称も両津市民コーラスと改称しました。年齢は三十代〜七十代まで幅広く、会員相互で生きている限り続けようと血気盛んに美声?を張りあげています。悩みは、男性が二名しかいないということ。願いは、第九を佐渡の空に響かせたいということ……。質的にはイマイチですが、パワーは全開というサークルです。

(池田慶子 記)

新津市中央公民館主事

大杉 克 行氏 (32歳)

中央公民館に所属し、四年目になる。

下水道課、税務課を経験し、十二年目、脂の乗った年齢と心優しい人柄で、担当講座の書道教室、洋画教室の生徒さんからの信望も厚く、また、「文芸にいつ」の発刊、成人式、イングリッシュピッチコンテスト等の諸



事業もスビーディーに、エネルギーに、ギンシュにこなしてい

る。公民館にはなくてはならない大杉君です。

しかし、このような彼も女性にはよわかったのか、昨年結婚。でもそれはとりこし苦労、素晴らしい女性を得、そして、本年五月五日長女「存」ちゃんの誕生をみた。

心優しい人柄(いや単なる子煩悩か)、毎日存ちゃんをお風呂に入れるのが楽しくてしょうがないようである。(本人は減量のためにやっているとのこと) 存ちゃん、お嫁に行く時の親父が心配(いらぬ心配ごめん) (中央公民館係長 湯田幸栄記)

素顔 拝見

小千谷市公民館主事補

上村 茂 子さん(21歳)

昨年晴れの成人式を終えたばかりの乙女、市公民館の「マドンナ」的存在です。

三方を山に囲まれ、越後平野のスタートラインといわれる当市に育った、生粋の小千谷美人でもあります。



れとも大切なひとり娘のせい(か)常に清純に、静け

さありで、ふと、谷間で笛を吹く少女?を連想させてくれます。

彼女は、短大卒業後在職二年目にして、早くも婦人学級、すこやか子育て教室、親子運動教室、地域高齢者学級など、数々の学級を担当、若アユのように日夜の活動を続けています。

デスクメイトが良いのか(そ

趣味は?、音楽鑑賞、恋人は?ホジイ。理想の男性は?、包容力があって、面白い人! 「山のあなたの空遠く、幸住」と人のいう「茂ちゃんには、いつも明るく、市民のアイドルであって欲しいと思います。(小千谷市公民館長 羽鳥昌治記)

惠贈資料紹介

公民館月報「さんぼく」縮刷版

山北町公民館から、公民館報「さんぼく」の縮刷版の惠贈を受けた。B5判486頁からなる大冊で、紺地に布張り金文字入りの豪華版である。

山北町公民館では、昭和30年に公民館報「さんぼく」を創刊し、以来毎月定期刊行しているもので、昭和53年に第200号の発行を記念して創刊号から200号までを集録して縮刷版を刊行している。この版はその第二輯にあたるもの。第201号から300号までを集録している。

聖山大学

聖籠町公民館

聖籠町公民館の高齢者学級「聖山大学」第19期生の卒業記念文集が贈られてきた。

B5判85頁からなるもので、受講者の感想文のほか、14号

講演会案内

県貯蓄推進委員会主催

来る十月十六日(金)、貯蓄運動四十周年を記念した講演会が、新潟県ならびに県貯蓄推進委員会の主催で実施される。講師は著名な多湖輝氏。多数の参加をおすすめする。

会場、時間等は別記のとおり。入場は無料であるが、会場整理のため整理券を発行しているの

で、参加希望者は左記へ申し込んでください。

〒950新潟市新光町4-1

新潟県総務部知事公室県民生活課物価調査係

TEL(05)265-1551(内二三四)

貯蓄運動40周年記念

講演会のお知らせ

「いま暮らしも社会も大きく変わっています—豊かな生活設計を考える」

と き 10月16日(金) 13:20~15:30

と ころ 新潟市万代市民会館 6階ホール
(新潟中央郵便局ちかく、バス停留所1丁目、万代町下車)

テ マ 「頭をつかって爽やかに
元気に生きよう」

講 師 千葉大学名誉教授 多湖 輝 先生

申込先 〒950 新潟市新光町4-1
新潟県総務部知事公室県民生活課物価調査係
TEL 025-285-5511 内線2134、2135
FAX 025-285-4500

入場無料

お申込のあり次第入場整理券をお送りします。
その他 公明は駐車場の用意がありませんので、ご注意ください。

主催 新潟県・新潟県貯蓄推進委員会
後援 新潟県中央委員会

※会場には駐車場の用意がありません。

まちからまちまで

市町村の隠れた名所紹介のコーナーです。

【加治川村の巻】

国道七号線に「道の駅」として、北緯三八度線に位置するモニュメントが完成し、ドライ

パーに休息の場を提供しています。新津市出身で、パリ在住の彫刻家、原田啓男氏(ベルサイユ国立大講師)の手によるこの作品は、フランス・ブルターニュ地方産の赤御影石を使い、全重量は約三八トン。

地球をイメージした球体を横

に及ぶ学級新聞的な広報紙「ねがい」の集録、グラビアのページには写真がふんだんに掲載されている。その写真で気のついたことは、どの一コマもカメラ

の眼がみんな受講者に向いていることである。主役は受講者なんだということを無言のうちに主張しているように思われた。

切るラインが、北緯三八度線と合致し、アテネ・ワシントン・サンフランシスコ・板門店・万里の長城へとつながっている。

この作品は「無限の大地」と名づけられ、現代人の自然に対する感性を引き戻すものとして、加治川村の大地に地球を乗せ、宇宙と自然、そして人間との調和を表現しています。

これからも、世界中の人々が手をとりあって、平和でありま

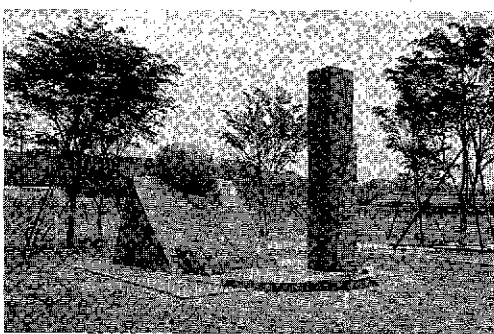
あとがき

すようにとの願いが込められています。(加治川村中央公民館 平野記)

◆9月12日、世紀の大教育改革ともいふべき「学校週五日制」の第一日が始まります。文部省では生涯学習局が中心となって「9・12キャンペーン」を打ち出すとか。

◆本県教育委員会では、「新潟県学校週五日制推進協議会」の委員によって、2小学校・2公民館の実情視察をすることになっています。

◆公民館界でも、これが対応を前向きに受けとめねばならないと、上中下越公連の研究会で研究の主流となっていました。関プロ公研大会でも大きく取り上げられていました。当分の間、当「公民館月報」はこの問題を追跡する必要があります。(九月七日 上村記)



発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(025)224-6073】

発行人 会長 細川 正博

編集人 事務局 上村 捨二郎
【定価1部130円 年々1,560円】